

科目名 (Eng)		校外実習 (Extramural Practice)								
担当教員		学科長, 4年担任								
対象学年等		学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
		電気工学科	4	通年	必修	1		専門	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応: (D-4), (F-1), (F-3)									
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 3), 4), 5), 6).									
	JABEE基準1 (1) との対応: (d)-(2)-c), (f)									
授業の概要と方針		社会における技術者の役割を認識するとともに, 学校教育で修得している知識が実社会でどのように活用されているかを理解することで, 今後の学習に役立てる.								
到達目標		①社会人・技術者としての心構えを体得する. ②学校での学習内容やこれから身につけるべきことを企業や自治体または大学等の研究機関における業務内容を参考に確認する.								
授業計画										
(実習先の選択) 4月頃から実習先(企業, 地方公共団体, 大学等)について学級担任と学生の間で十分に検討し, 夏季休業開始頃から実習を始められるようにする. (実習の期間) 原則として第4学年の夏季休業中に実施する. ただし, やむを得ない事情により夏季休業中に実施できない場合は, 他の休業中に実施することができる. 実習の期間は原則として2週間とする. (実習の実施) 実習先において, 学級担任および指導者の立てた実習計画の下, 計測・設計・製図・加工・製作・運転・操作・実験等を行う. (実習成果の報告) 実習の成果について, 本校所定の校外実習報告書にまとめ, 学級担任に提出する. 学科ごとに行う報告会で, 実習内容と成果を報告する.										
試験について		実施しない								
評価方法		提出された本校所定の校外実習報告書, 校外実習記録票および校外実習成果報告会での報告をもとに, 可否で評価する.								
教科書										
参考書										
関連科目										
履修上の注意		学生本人の特技, 将来の希望または受入側の事情等を勘案して実習先を決めること. また, 実習中は実習の目的を十分に認識した上で, 指導者の指示に従い, 危険がないように実習すること.								